

科目名	ファッションビジネス理論と演習 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	60	作成者	塩田千織

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識とファッション産業における商品知識を講義と演習により修得し、ファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成。

【科目の概要】

今、日本のファッション産業は国際化が激しくなっており、あらゆる部門で国内だけでなく、国際的な視点を持ってビジネスを進める事の出来る人材がさらに求められている。本教科では、ファッションビジネスの基本として、ファッションビジネス知識の基礎を中心に講義と演習により修得する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 イントロダクション
- 3・4 ファッション業界
- 5・6 ファッションビジネスとは
- 7・8 ファッション商品の流れ
- 9・10 ファッションビジネスの流れ
- 11・12 繊維ファッション産業の歴史
- 13・14 近年のファッションビジネス動向
- 15・16 ファッション消費者行動
- 17・18 ファッション産業構造(日本のアパレル産業)
- 19・20 ファッション産業構造(世界のアパレル産業)
- 21・22 ファッション産業構造(日本のアパレル小売産業)
- 23・24 ファッション産業構造(世界のアパレル小売産業)
- 25・26 オリジナルショップ企画 I
- 27・28 オリジナルショップ企画 II
- 29・30 期末試験

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

ファッションビジネス3級新版 ファッションビジネス能力検定3級公式テキスト(財)日本ファッション教育振興会
 ファッションビジネス2級新版 ファッションビジネス能力検定2級公式テキスト(財)日本ファッション教育振興会

【教材・教具】

筆記用具・ノート・ファイル・レポート用紙

科目名	ファッションビジネス理論と演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	塩田千織

【科目の到達目標】

「ファッションビジネス理論と演習Ⅰ」にて修得した基礎知識を元に、ファッションビジネスをグローバルな視点で捉えた産業構造を理解し、グローバルな視点に立ったファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成。

【科目の概要】

今、日本のファッション産業は国際化が激しくなっており、あらゆる部門で国内だけでなく、国際的な視点を持ってビジネスを進める事の出来る人材がさらに求められている。本教科では、ファッションマーケティング、ファッションマーチャンダイジングやアパレル流通の知識を講義と演習により修得する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 イントロダクション
- 3・4 計数の基礎知識(小売業の計数管理)
- 5・6 マーケティング
- 7・8 マーケティング
- 9・10 ファッションマーケティング(アパレル産業)
- 11・12 ファッションマーケティング(アパレル小売産業)
- 13・14 マーチャンダイジング
- 15・16 リテールマーチャンダイジング
- 17・18 バイイングⅠ
- 19・20 バイイング実践
- 21・22 計数の基礎知識(価格と原価)
- 23・24 計数の基礎知識(アパレル企業の計数管理)
- 25・26 ファッション流通
- 27・28 アパレル生産管理
- 29・30 アパレル営業
- 31・32 計数の基礎知識(アパレル営業の計数管理)
- 33・34 課題製作Ⅰ
- 35・36 課題製作Ⅱ
- 37・38 課題製作Ⅲ
- 39・40 ファッションビジネストレンドⅠ
- 41・42 ファッションビジネストレンドⅡ
- 43・44 ファッションビジネストレンドⅢ
- 45・46 ファッションビジネストレンドⅣ
- 47・48 ビジネスコミュニケーションⅠ
- 49・50 ビジネスコミュニケーションⅡ
- 51・52 ビジネスコミュニケーションⅢ
- 53・54 キャリアプランⅠ
- 55・56 キャリアプランⅡ
- 57・58 キャリアプランⅢ
- 59・60 期末試験

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

ファッションビジネス3級新版 ファッションビジネス能力検定3級公式テキスト(財)日本ファッション教育振興会
 ファッションビジネス2級新版 ファッションビジネス能力検定2級公式テキスト(財)日本ファッション教育振興会

【教材・教具】

筆記用具・ノート・ファイル・レポート用紙

科目名	ファッションマーケティング&プランニング I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	60	作成者	塩田千織

【科目の到達目標】

マーケティングの基礎知識を講義と演習により修得し、市場の求めるファッション商品のプランニングが出来る人材の育成。

【科目の概要】

ファッション市場の国際化を受け、益々消費者の選択枠が広がりを見せている。ファッションマーケティングにおいても、マーケット情報を分析しビジネスを進める事の出来る人材がさらに求められている。本教科では、商品企画書を作る為に必要なファッション用語や、市場情報の収集・分析方法を講義とリサーチにより学ぶ。

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 消費者行動とファッション生活 I
- 3・4 消費者行動とファッション生活 II
- 5・6 消費者行動とファッション生活 III
- 7・8 商品企画 I (マーケティングリサーチ)
- 9・10 商品企画 II (ブランド選定、分析)
- 11・12 商品企画 III (ターゲット分析)
- 13・14 商品企画 IV (コレクショントレンド情報分析)
- 15・16 商品企画 V (シーズンコンセプト企画)
- 17・18 商品企画 VI (コーディネート企画 I)
- 19・20 商品企画 VII (コーディネート企画 II)
- 21・22 商品企画 VIII (アイテム企画)
- 23・24 商品企画 IX (プロモーション企画)
- 25・26 商品企画 X (仕上げ)
- 27・28 期末試験
- 29・30 プレゼンテーション

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

菅原正博・山本光子「ファッション・マーケティング」ファッション教育社

【教材・教具】

内藤郁代「商品企画実践のための感性分類とトレンド分析」ファッション教育社
 栗山志明「フィールドマーケティングの基本と技術」織研新聞社

科目名	ファッションマーケティング&プランニングⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップマネジメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 65 % 実習 35 %
時間数	30	作成者	白井一樹

【科目の到達目標】

前期学んだ商品企画の基礎をより戦略型(ビジネス)にした商品企画を作成しマージャンダイジングのスキルをUPする。

【科目の概要】

市場分析マップ作成、ビジネス企画書作成&プレゼンテーション。
ファッションビジネスⅡに基づき進行しますが、ファッションビジネス論と接点を持たせ進行する。

【授業計画】 90分/15コマ

- 1 市場分析Ⅰ
- 2 市場分析Ⅱ
- 3 ターゲット企画Ⅰ
- 4 ターゲット企画Ⅱ
- 5 トレンド分析Ⅰ
- 6 トレンド分析Ⅱ
- 7 商品コンセプトⅠ
- 8 商品コンセプトⅡ
- 9 コーディネイト企画Ⅰ
- 10 コーディネイト企画Ⅱ
- 11 アイテム企画Ⅰ
- 12 アイテム企画Ⅱ
- 13 プロモーション
- 14 プレゼンテーション
- 15 フィードバック

【成績評価方法】

平常点 10%
課題の仕上がり(商品企画書を100点満点で採点し平均点で評価)50%
プレゼンテーション100点満点で採点し平均点で評価)40%

【教科書・参考書】

ファッションビジネス(Ⅱ)

【教材・教具】

パソコン 雑誌 マップ作成一式

科目名	販売技術 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30		松下絢子

【科目の到達目標】

ファッションアドバイザーに必要な基本的な知識と技術を身に付け、プロのファッションアドバイザーとして顧客のニーズを引き出す対応が出来る人材の育成。

【科目の概要】

ファッションアドバイザーに必要な基礎知識を講義により修得し、お客様対応の技術をロールプレイングにて学ぶ。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 FAの印象 - 笑顔とモチベーション
- 2 FAの印象 - 基本所作と言葉遣い
- 3 接客技術 - 入店～お声掛け
- 4 FAの印象 - スタッフタイプ・購買心理8段階
- 5 接客技術 - アプローチ
- 6 接客技術 - セールストーク、会話力
- 7 中間接客ロールプレイングテスト
- 8 接客スキル強化
- 9 商品知識とセールストーク I
- 10 商品知識とセールストーク II
- 11 接客技術 - コーディネート提案
- 12 接客技術 - 決定力、クロージング
- 13 レジ対応(金銭授受)～お見送り
- 14 FAの役割と意識
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

教①:「ファッション販売3訂正版 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」(財)日本ファッション教育振興会
 教②: 高村是州「スタイリングブック」グラフィック社

【教材・教具】

「ファッション販売能力検定試験問題集3級訂正版」(財)日本ファッション教育振興会
 「ファッション販売3訂正版 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」(財)日本ファッション教育振興会
 上條美由紀「ビジュアル版 プロの接客術」織研新聞社

科目名	販売技術Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 40 % 実習 60 %
時間数	60	作成者	塚井良太

【科目の到達目標】

「販売技術Ⅰ」にて修得した販売の基礎知識を元に、顧客ニーズの開発をきっかけに顧客づくりが出来、店長として果たすべき役割を理解した人材の育成を目指す。

【科目の概要】

アパレル販売の接客担当者(FA)における役割は、販売だけに留まらない。最終消費者に直接接合できる店頭販売員は、販売を通じて得た顧客の声を生産者に伝えるという重大な使命がある。本教科では、顧客の心理を理解し、ライフスタイルに沿った商品提案と、顧客管理までの知識と技術の修得を目指す。

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 パーソナルカラーと接客
- 3・4 TPO知識と接客
- 5・6 骨格診断と接客
- 7・8 会話力を鍛える・インスタライブ
- 9・10 お客様タイプ別対応
- 11・12 お客様タイプ別対応
- 13・14 接客ロールプレイングコンテスト一次審査
- 15・16 接客スキル強化
- 17・18 ホスピタリティ
- 19・20 接客ロールプレイングコンテスト二次審査
- 21・22 フィッティング対応
- 23・24 お直し対応
- 25・26 ショップスタッフのSNS活用・デジタル接客
- 27・28 修業テストⅠ筆記
- 29・30 修業テストⅡ実技

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「ファッション販売Ⅰ」ファッション販売能力検定3級準拠」財団法人日本ファッション教育振興協会
「ファッション販売Ⅱ」ファッション販売能力検定2級準拠」財団法人日本ファッション教育振興協会
「ファッションビジネス(Ⅱ)ファッションビジネス能力検定試験2級準拠」財団法人日本ファッション教育振興協会

【教材・教具】

アパレル商品・店舗什器一式・店舗備品、上條美由紀「ビジュアル版 プロの接客術」織研新聞社

科目名	イングリッシュコミュニケーション I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップマネジメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	Hwang Ae Fa

【科目の到達目標】

英語でのコミュニケーションの基礎を築き日常英会話を身につける。また専門分野に関する英文資料を理解するための基礎を修得する。様々な状況において英語を使うことを恐れない自信をつける。

【科目の概要】

日常及び旅行英会話を学ぶ中で、相手の英語をおおまかに理解し自分の意思を伝えられるようにする。ビジネス業務での英語コミュニケーションの必要性を理解し、英語で対応できる実践的なトレーニングをする。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	Orientation / Proficiency Test		16 Understanding a movie
2	Questions & Short Answers		17 Watching a movie
3	Pronunciation / Numbers		18 Unit 6 : Asking for things on a flight
4	Daily Activities		19 Unit 7 : Answering questions at Immigration
5	Parts of body and face		20 Unit 8 : Ordering the food
6	Time / Review		21 Unit 9 : Shopping
7	Unit 1 : Talking to each other		22 Unit 10 : Asking for directions
8	Unit 2 : Talking about interests		23 Unit 11 : Asking for information about tours and activities
9	Unit 3 : Talking about family		24 Unit 12 : Taking the public transportation
10	Unit 4 : Talking about places you visit		25 Test / Review
11	Unit 5 : Making arrangement to meet someone		26 Speech / Preparation
12	Test / Review		27 Speech
13	Making The Self Introduction Map		28 Group Presentation / Research
14	Speech / Preparation		29 Group Presentation / Preparation
15	Speech / Enjoy a English song		30 Presentation / Enjoy a English song

【成績評価方法】

提出物40%、小テスト20%、期末テスト30%(筆記及びプレゼン)、授業態度 10%

【教科書・参考書】

"PASSPORT1" Oxford University, プリント配布

【教材・教具】

DVDs and player, PC and Projector, CD player, Dictionary(Smartphone Application), Magazines

科目名	商品製作 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	120	作成者	坂本紘子

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムである、ブラウス・スカート・ワンピース・パンツ・台襟付き長袖シャツの構造・製作工程を理解し、洋服に適した素材選択ができる。

【科目の概要】

洋服の知識を持った販売員・マーチャンダイザーを服飾業界は、必要としている。
本教科では、ブラウス・スカート・ワンピース・パンツ・台襟付きシャツを実物作品製作することにより服作りの工程・素材・構造等を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期
1,2	授業説明 ・縫製用具の理解 ミシン・アイロンの使い方	31,32 パンツの製作(1)
3,4	手縫いの基礎 ・ブラウスの製作(1)	33,34 パンツの製作(2)
5,6	手縫いの基礎 ・ブラウスの製作(2)	35,36 パンツの製作(3)
7,8	ブラウスの製作(3)	37,38 パンツの製作(4)
9,10	ブラウスの製作(4)	39,40 パンツの製作(5)
11,12	ブラウスの製作(5)	41,42 パンツの製作(6)
13,14	スカートの製作(1)	43,44 パンツの製作(7)
15,16	スカートの製作(2)	45,46 パンツの製作(8)
17,18	スカートの製作(3)	47,48 台襟付長袖シャツの製作(1) 商品企画(グループ製作)
19,20	スカートの製作(4)	49,50 台襟付長袖シャツの製作(2)
21,22	ワンピースの製作(1)	51,52 台襟付長袖シャツの製作(3)
23,24	ワンピースの製作(2)	53,54 台襟付長袖シャツの製作(4)
25,26	ワンピースの製作(3)	55,56 台襟付長袖シャツの製作(5)
27,28	ワンピースの製作(4)	57,58 台襟付長袖シャツの製作(6) 商品企画グループ発表
29,30	ワンピースの製作(5)	59,60 テスト・授業まとめ

【成績評価方法】

課題作品の仕上がり評価(実物作品5点を100点満点で採点し平均点で評価)60%
理解力(修業テスト・プレゼン)30%
平常点(授業態度)10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

プリントを配布・「ブラウス」「スカート」「ワンピース」「パンツ」教科書 上田安子服飾専門学校
「洋裁」「縫い方全書」教科書・服飾手帖社

【教材・教具】

筆記用具 洋裁用具一式 ミシン等縫製機器

科目名	商品製作Ⅱ(パターンメイキング)	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	坂本紘子

【科目の到達目標】

アパレル業界は、洋服の知識を広く持つ人材を必要とする。本課目では企画書に沿ってコーディネートした実物製作をすることで服作りの素材、デザイン、工程、構造を学ぶ。

【科目の概要】

前期で学んだアイテムを基としてトップスとボトムスをコーディネートした2体を製作する。ボディに着用させて製品のデザイン、製造、販売までのプロセスをプレゼンテーションする。

【授業計画】

90分/コマ

- 1・2 企画書 コーディネートA B
- 3・4 パターンメイキング
- 5・6 パターンメイキング
- 7・8 トワール組み
- 9 パターン縫い代付け
- 10・11・12 裁断
- 13・14 縫製 縫い代の始末・袋縫い・伏せ縫い(木綿)
- 15・16 縫製
- 17・18 縫製
- 19・20 縫製
- 21・22 縫製
- 23・24 縫製
- 25・26 縫製 ラグランスリーブトワール組み
- 27・28 プレゼンテーション合評会
- 29・30 テスト・まとめ

【成績評価方法】

課題作品の仕上がり評価(実物作品4点を100点満点で採点し平均点で評価)60%
 理解力(修業テスト・プレゼン)30%
 平常点(授業態度)10%
 以上を指導要領に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

「ブラウス」「スカート」「ワンピース」「パンツ」教科書 上田安子服飾専門学校
 「洋裁」「縫い方全書」教科書 服飾手帖社

【教材・教具】

ミシン等縫製機器・洋裁道具一式 PC・プロジェクター

科目名	コンピューター演習	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	阪田優

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につけるとともに、GoogleDrive、Gmail、Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Pointの基本操作を理解し、Adobe Illustrator、Adobe Photoshopでの画像、イラスト作成できる。また、店頭やビジネスの世界でPCを使える人材を育成する。

【科目の概要】

ファッションビジネスに必要と思われる、ネットを使ったリサーチ手法から企画書作成までのコンピュータの基礎技術を修得する。講義を行い教員と同時進行でコンピューターを使用してそれぞれの課題を取り組み、目的に合わせてソフトウェア選択し、使いこなせる。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	基本操作・メール	16	基本操作
2	フォトショップ	17	表作り
3	トレンドマップ	18	収支報告準備
4	トレンドマップ	19	収支報告
5	トレンドマップ	20	基本操作
6	フォトショップ	21	基本操作
7	商品企画	22	基本操作
8	商品企画	23	名刺
9	商品企画	24	ペンツール
10	商品企画	25	ペンツール
11	商品企画	26	ペンツール
12	商品企画	27	ハンガーイラスト
13	商品企画	28	ハンガーイラスト
14	商品企画	29	ハンガーイラスト
15	報告書作成	30	テスト

【成績評価方法】

課題 60%
 修業テスト 30%
 平常点(授業態度) 10%

【教科書・参考書】

- ①井上香緒里 & できるシリーズ編集部「できるWord&Excel&Power Point2013」株式会社インプレスジャパン出版
- ②片岡巖「世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書」株式会社技術評論社
- ③片岡巖「世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書」株式会社技術評論社
- ④菅原正博 本山光子「ファッション・マーケティング」株式会社ファッション教育社 1999年4月5日発行

【教材・教具】

パソコン、USBメモリー、ファッション雑誌、A4ファイル

科目名	ビジネスマナー	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	田野直美

【科目の到達目標】

就職活動時の企業訪問や面接試験に必要な社会人としての基本的なマナーを身につけます。
卒業後の企業人として必要なコミュニケーション能力やマナーの応用力を養っていきます。美しい立ち居振る舞いを習得しワンランク上の人材を目指します。
また、サービス接客検定2級・準1級の取得も目指し、達成感や自信につなげます。

【科目の概要】

この科目では人と人とのつながりの基本のコミュニケーション力を育成します。マナーの基本でもある身体言語（表情・態度・身だしなみ・挨拶）と言葉づかいを実践的に学習します。きちんとした立ち姿や、笑顔でメリハリのある話し方について楽しく身につけます。コミュニケーション能力を養って、魅力ある社会人を目指しましょう。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ビジネスマナーの必要性 (マナーチェックシート)		16 サービス接客検定 筆記対策 ① (資質・専門知識・一般知識)
2	インターネットのモラル (SNS拡散の影響 著作権侵害など)		17 サービス接客検定 筆記対策 ② (対人技能)
3	挨拶の重要性と心のこもったおじぎ (綺麗な姿勢から歩き方のレッスン)		18 サービス接客検定 筆記対策 ③ (実務技能)
4	基本の自己紹介・面接対策授業 (第一印象にかかわる基本)		19 サービス接客検定 筆記対策 ④ (過去問題練習)
5	言葉以外のコミュニケーションの手法 (アイコンタクト・表情・発声・発音)		20 サービス接客検定 筆記対策 ⑤ (準1級面接対策)
6	基本の姿勢 身ごなし ビデオチェック (1～5確認テスト)		21 就職活動で必須 自己分析の重要性 (性格・ライフプランニングシート作成)
7	敬語の総復習※ミニテスト (第一印象にかかわる基本の総復習)		22 就職面接のための準備 ① (自己振り返りシート作成)
8	敬語の種類と使い方・案内のマナー (立場に応じた言葉づかい)		23 就職面接のための準備 ② (自己紹介シート作成)
9	接客用語の基本・ドアの扱い方のマナー (クッション言葉・婉曲表現・面接対策)		24 就職面接のための準備 ③ (質疑応答の実践)
10	接客用語の応用・電話応対練習 (言葉遣い実践)※8～10確認テスト		25 模擬 個人面接の実践 (質疑応答の実践)
11	名刺の扱い方・サービス2級検定対策 (名刺交換の実践練習)		26 就職面接のための実践練習※実技試験 (入室～退室まで 1分間自己PR)
12	アナウンスの仕方 実践 録音 (サービス接客検定記述問題 対応)		27 オンライン面接対策 (注意事項・好印象を与えるポイント)
13	掲示文の書き方 実践 (サービス接客検定記述問題 対応)		28 電話応対のマナー・メールのマナー (就職活動での電話・メールのマナー)
14	終業テスト対策授業 (受付、案内、エレベーター、敬語復習)		29 電話応対の実践 (てるコーチを使って実践)
15	前期まとめと総復習		30 コミュニケーションスキルの実践 (指示と報告のワーク)

【成績評価方法】

◎課題提出物 60% ◎修業テスト・確認テスト 30% ◎授業態度 10%

【教科書・参考書】

田野直美 著「ビジネスでの常識集」トータルマナー株式会社 最新版
元吉昭一 著「サービス接客検定 実問題集 1-2級」財団法人実務技能検定協会 早稲田教育出版 最新版

【教材・教具】

ビデオカメラ・モニター てるコーチ ボイスレコーダー
サービス接客検定 準1級 ロールプレイング DVD、その他 随時 練習プリント

科目名	ファッションドローイング&デザイン	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	阪田優

【科目の到達目標】

ファッション産業界に必要なドローイング及びデザインの基礎知識、人体のプロポーションを理解しアイテム画、スタイル画の描き方とテクニックを修得。

【科目の概要】

IT社会に即応した商品企画プレゼンテーション、バイイングに必要なデザインやスタイリングをコンセプトに基づいてアイテム画、スタイル画に表現出来る。パターンの重要性を理解する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 授業ガイダンス
鉛筆の基本操作。基本人体バランス
- 2 アイテム画のフォーマット作成
- 3 アイテム画 シャツ
- 4 アイテム画 パンツ&スカート
- 5 アイテム画 ジャケット
- 6 アイテム画 ニット&カットソー
- 7 アイテム画 コート
- 8 ファッションプロポーションの表現
- 9 スタイル画 着装の方法
- 10 スタイル画 着装の方法
- 11 スタイル画 ペン入れ
- 12 スタイル画 着色の方法
- 13 スタイリング画作品制作
- 14 スタイリング画作品制作
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	カラーリング	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	福田新之助

【科目の到達目標】

色彩の基礎学習と課題制作を通じてファッションに対する意識と実践力を高める。
 アパレル業界ビジネス分野においてカラーリングの重要性に気づき・対応出来る基盤を獲得することを目標にしている。
 主観的な発想だけでなく、客観的に物事を考える力を身につける。

【科目の概要】

配色(カラーリング)の基礎・色の仕組みを、PCCSの理論を基礎に、絵具による混色。着彩とカラーリングにより演習を行いカラーリングの重要性を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 カラーリングの基本 色出し
- 2 基本配色 対比
- 3 明度と彩度の違い I
- 4 明度と彩度の違い II
- 5 明度と彩度の違い II
- 6 ファッションイメージとトーン I (フェミニン・スポーティーから選択)
- 7 ファッションイメージとトーン II
- 8 ファッションイメージとトーン III
- 9 ファッションイメージとトーン IV
- 10 ①トレンドによるカラーリングの提案制作(8つのトレンド感性から選択)
- 11 ②トレンドによるカラーリングの提案制作
- 12 ③トレンドによるカラーリングの提案制作(a)ドミナント、bグラデーション、cレピテーションからも選択)
- 13 ④トレンドによるカラーリングの提案制作
- 14 修業テスト
- 15 ⑤トレンドによるカラーリングの提案制作

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

中田満雄 北畠耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所『デザインの色』日本色研事業株式会社 2版 15刷 2012年、トレンドプリントを配布

【教材・教具】

デザインセット(デアインガッシュ絵具/パレット/筆/筆洗)雑巾、B4ケント紙、配色カード(199色)
 30センチ定規、雲形定規、コンパス、カッターナイフ、ハサミ、ノリ、カッティングマット

科目名	服飾素材論 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 % 実習 - %
時間数	30	作成者	河本育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。
 本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維—綿
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維—麻
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維—毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維—絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物(レポート)の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

・一見 輝彦「わかりやすいアパレル素材の知識」ファッション教育社 2012年
 ・田中道一「生地の事典」株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッション史 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップマネージメントコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

国の文化の違い、美術、建築、音楽、映画など文化的関連性を学び、ブランド、デザイナー、トレンド、時代背景を知る。ファッションの現代史を理解した上で販売・企画のできる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

1918年以降のパリモードとラグジュアリーブランドの誕生、現代のトレンドまでを様々なつながりから理解し、これからも続くファッション変化を予測できる基礎ファッション史知識の修得を目指す。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 映画とファッション史
- 2 音楽とファッション史①
- 3 音楽とファッション史②
- 4 音楽とファッション史③
- 5 ブランドの誕生から現代
- 6 ブランドの誕生から現代
- 7 時代のアイコンとファッション史
- 8 時代のアイコンとファッション史
- 9 ブランドの誕生から現代
- 10 ブランドの誕生から現代
- 11 ファッション消費の歴史
- 12 戦争と平和で知るファッション史
- 13 性の変化で知るファッション史
- 14 スポーツとファッション史
- 15 修業試験

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

「20世紀からのファッション史: リバイバルとリスタイル」横田尚美・原書房
「ストリート・トラッド: メンズファッションは温故知新」佐藤誠二郎・集英社
「ザ・ストリートスタイル」高村是州・グラフィック社
「世界服飾大図鑑」DK社・河出書房新社